

EMC技術セミナー

技術センターでは、府内企業のEMC技術向上を目的にEMC技術セミナーを開催しています。今年度は、電気製品の開発業務に新たに就かれた方向けの入門編から、中上級者向けとなる「放射ノイズ測定実習」や「EMC対策設計ノウハウ集」など、年間5回の開催を予定しています。

第1回EMC技術セミナー

新たに電気製品の製品開発業務に就かれた方や、改めて学びたい方など向けに実施します。

日時 平成30年度6月26日(火) 13:00~17:00

会場 当センター 5階 研修室

内容 「EMC入門」

第1部 製品安全 基礎

講師 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 試験事業部 EMC・安全技術グループ
安全試験チーム チームリーダー 中山 太介 氏

内容 製品安全の基礎として、「安全とは?危険とは?」の考え方から始まり、電気用品安全法技術基準の読み解き方を基に、設計者が考えなければならないことを具体的に学びます。特に、感電の危険及び絶縁の考え方を中心に、実際の試験項目を交えながら解説いただきます。

第2部 EMC入門編

講師 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 試験事業部 EMC・安全技術グループ
グループマネージャー 峯松 育弥 氏

内容 EMC規格と規制の概要から基本的な考え方を説明いただき、実際のノイズ計測などEMC評価方法について学びます。また、CISPR規格の動向についても紹介いただきます。

受講料 無料

定員 50名

申込方法 当センターのホームページ(<https://www.kptc.jp/>)からお申込みいただくか、ページ下のお問い合わせ先へご連絡ください。



電気製品に欠かせないEMC技術

「EMC」とは、「Electro Magnetic Compatibility」の略で「電磁環境両立性」と訳されます。すなわち、電気製品が周辺に出す電磁ノイズをどれだけ抑えられるかが問われる電磁波妨害(Electro Magnetic Interference: EMI)と、周辺からの様々な電磁ノイズに耐え正常に動作するかの電磁感受性(Electro Magnetic Susceptibility: EMS)との両性を同時に達成させることです。

現在、電気製品を世の中に送り出すには、ほぼ世界中でこのEMCへの適合が求められており、日本でも家電製品などは電気用品安全法の中で、感電防止や発火防止と並んで適合させなければ



ファストランジェントバースト試験機



電波暗室での電磁ノイズ計測

ならない技術基準の一つとして規定されています。

更に、医療用電気機器では、誤動作した際のリスクを考慮し、より厳しい基準をクリアすることが求められるなど、EMC技術の重要性が高まっています。

昨年度の実績と参加者の声

平成29年度は、「EMC入門」「スペクトラムアナライザ取扱実習」「静電放電試験実演」「電気回路入門」の計4回を開催し、延べ82人の方が参加されました。



スペクトラムアナライザ取扱い実習



静電放電試験の実演

〈参加者の声〉

- もやっとした部分を分かりやすく説明してもらえてよかった。
- とても分かりやすかった。仕事上で必要な知識が身についた。
- 学生時の電磁気学の内容のおさらいができた。
- 勉強したことはあっても、いまいち理解できていなかったが、今回のセミナーで概要をつかむことができた。
- 知らなかった知識を身につけて、今後に生かすことができそう。